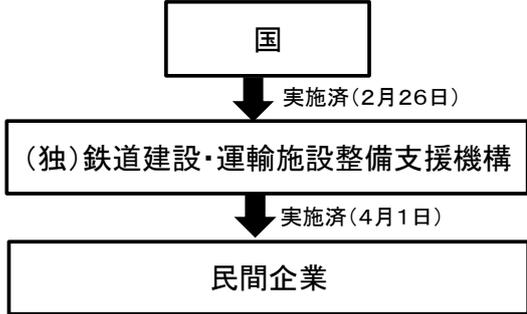


「日本経済再生に向けた緊急経済対策」進捗管理シート(国土交通省)

対策の柱立て(大区分)	Ⅲ. 暮らしの安心・地域活性化	担当部局	鉄道局
対策の柱立て(中区分)	2. 地域の特色を生かした地域活性化		
対策の柱立て(小区分①)	(2) 公共交通の活性化など地域経済・産業の活力向上に資する取組の推進	担当課	技術企画課技術開発室
対策の柱立て(小区分②)	ー		
対策における施策の名称	軌間可変電車(フリーゲージトレイン)の技術開発		
(事業名)	軌間可変電車(フリーゲージトレイン)の技術開発	新規/既存	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 既存
平成24年度補正予算額	35億円	一般会計/特別会計 (特会の場合には名称も記載)	一般会計
事業の内容 (予算については、 予算の使途及び 予算を交付等する対象者 を明記)	フリーゲージトレイン(軌間可変電車)について、現在設計・製作中の新たな試験車両を用いて、実際の営業走行を想定した新幹線、軌間変換、在来線を繰り返す3モード耐久走行試験を実施するために、「リレーつばめ」で使用した新八代接続線構造物を活用し、新幹線と在来線を接続するための装置の設置等を実施する。 これらを実施するため、必要な補助金(物件費を含む。)を独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構に交付する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 交付金 <input type="checkbox"/> 貸付金 <input type="checkbox"/> その他(
アウトプット指標(進捗指標)	(アウトプット指標による目標) 平成25年3月末までに交付決定率100% 平成25年6月末までに契約率100%		
アウトカム指標(効果指標)	(アウトカム指標による目標) 平成25年度中に、設備整備を概ね完了し、平成26年4月から3モード耐久走行試験を開始して、平成34年度の九州新幹線長崎ルートの開業を確実にする。 (フリーゲージトレインの導入を前提としている九州新幹線(長崎ルート)の効果) ・時間短縮: 博多～長崎間の所要時間 現在1時間48分→導入後1時間20分 ・需要予測: 西九州(長崎県・佐賀県)と福岡県間の鉄道利用者数は1日当たり11,600人から14,900人に増加(平成34年度開業時) ・投資効果(B/C): 1.1 ・収支採算性: 20億円/年		
事業の進捗状況 予算の執行状況 (進捗実績、 今後のスケジュール)	(進捗実績) 平成25年2月26日に交付決定済み(交付決定率100%)。 平成25年4月1日に契約済み(契約率100%)。 【進捗ステップのイメージ図】  <pre> graph TD A[国] -- "実施済(2月26日)" --> B["(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構"] B -- "実施済(4月1日)" --> C[民間企業] </pre>		
執行早期化のために 講じている工夫	一日も早い効果の発現に向けて、可能な限り早期の事業執行に努めているところ。		
事業に関するURL (事業実施場所、補助先等)	【事業に関する概要】(国交省HP) http://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_fr1_000008.html 【事業の予算配分先】(鉄道運輸機構HP) http://www.jrtt.go.jp		